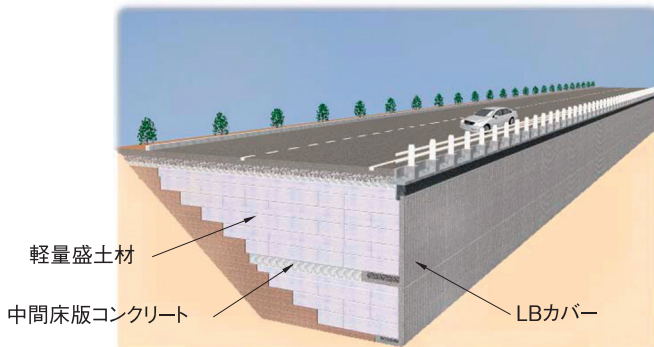


福岡 熊本 佐賀 長崎 大分 宮崎 鹿児島 沖縄



## 概要・特長

従来のEPS軽量盛土工法では、H形鋼の支柱間に壁面材を並べ保護層を設けていました。「LBカバー」は、従来の工法に比べて工事費や工期を削減するとともに、作業の安全性を確保したプレキャスト超軽量盛土用自立壁面材です。

### 優れた施工性

■壁面は、最大で6㎡/枚と広く、さらには製品単体でも自立するため、従来工法に比べ施工スピードが大幅に向上します。また、軽量盛土上部に設ける防護柵基礎をプレキャスト防護柵基礎ブロック『Gベース』と組み合わせることでさらに施工性の向上が図れます。

### 足場不要

■施工時には、谷側に足場工の設置は不要です。EPSの設置に合わせた壁面部材の設置が可能のため、安全に作業ができます。さらには、ブロックは自立し、製品相互は専用プレートにて接合を行うため、特殊な作業を必要としません。

### 工事費削減

■従来のH形鋼建て込み式に比べて、足場工等の仮設工も不要となり、20%の工事費削減が実現できます。

### 景観配慮

■周辺景観との調和を図る為、壁面材表面壁面模様つきを標準としております。場合によりカラーコンクリート等での対応も可能です。

## 従来工法との比較

工法	LBカバー工法	H形鋼支柱+壁面材
施工断面図		
構造的性	●プレキャスト製自立壁	◎ ●垂鉛メッキ付H形鋼+プレキャスト版
耐久性	●鉄筋コンクリート製であるため良い。	◎ ●押出成型セメント版のため、凍結融解対策が必要。 ×
安定性	●中間床版と一体化する。 ●中間床版上の水は速やかに外部へ排出。	◎ ●中間床版とH形鋼の連結は特殊な加工。(中間床版施工時にアンカー等が必要) ●中間床版上の水は壁面材内面を流れ落ちる。 △
維持管理面	●コンクリート製のため補修が容易。	◎ ●押出成型セメント版の場合は不可能。 ×
経済性(工事費)	80%	◎ 100% ○
施工性(壁面材施工歩掛り)	60㎡/日 ●製品は、標準で6㎡/枚で自立する。	◎ 40㎡/日 ●製品は、1㎡/枚で、吊りながらの固定が必要。 ○
安全性	●製品は、自立する。 ●基礎コンクリート上に製品を設置するのみ。	◎ ●壁面材は吊りながらの金具固定が必要。 ●基礎上に壁高のH形鋼の建て込みが必要。 ●壁面材設置時は高所作業車または足場工が必要。 △
総合評価	◎	△